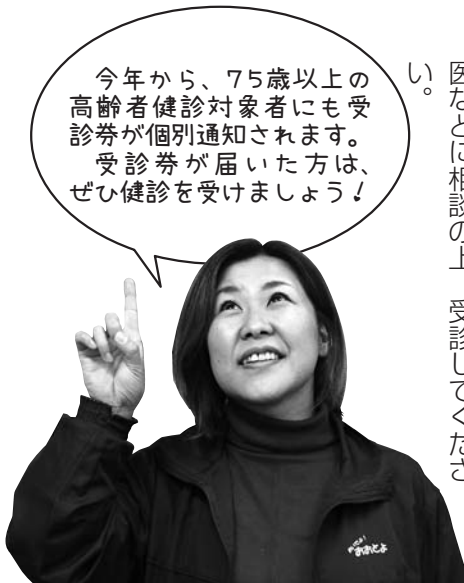


Q なぜ特定健診が必要なの？

A 医療費が膨大になり、国民皆保険制度が崩壊する恐れが出てきています。制度を維持していくために、医療費高騰の原因とされる生活習慣病の医療費を抑える目的で、国全体の生活習慣病予防対策として「特定健診」が導入されました。

Q 定期的に通院中なので、わざわざ特定健診を受けなくてもいい？

A 病院で治療の一環として受ける検査と、特定健診とは目的が違います。現在、治療中の病気以外の生活習慣病が見つかるケースもあります。定期的に検査を受けている人でも主治医などに相談の上、受診してください。



昨年11月に特定健診とがん検診について、307人の方を対象にアンケートを実施しました。

そこで特定健診、がん検診について質問が多く寄せられたので、それについてお答えします。

(モデル 住民課健康づくり班職員)

Q がん検診だけを集団健診で受診できる？

A 特定健診とがん検診をセットで実施していますが、がん検診のみ受診していただいても構いません。例えば、特定健診は病院で個別受診し、胃がん検診と大腸がん検診だけを集団健診で受ける、ということもできます。



Q がん検診も特定健診のように個別で受けられないの？

A 大豊町で実施しているがん検診は、集団健診のみでしたが平成26年度から乳がん検診と子宮がん検診は高知県内委託医療機関で、肺がん・結核予防レントゲン検診は町内医療機関での受診が可能になります。

健診 Q & A

この健診Q&Aで、健診についてご理解いただけましたか？
さて、来月は今年度の健診の受け付け開始です。
年に一度の健診で、ご自身の健康づくりにお役立てください。



Q 昨年、特定健診とがん検診を受けて異常がなかったのですが、今年も受診しなくてはいいかい？

A 受けましょう！
昨年大丈夫だった人も、知らない間に体の状態は変化していきます。生活習慣病は、自覚症状がないままに進行するのが特徴ですから、毎年の健診でいち早く自分の体の変化に気付くことが大切です。
がんの種類によっては進行の早いものもあり1年前の検診で異常がなくても安心できない場合があります。

Q 人間ドックの補助額がもう少し高ければいいのに...

A 現在、国保被保険者の方を対象に、最大10,000円を人間ドックの受診後に申請により補助しています。が、特定健診の受診券を使って人間ドックを受診すれば、特定健診の検査項目分の6,000円程度を町が負担しますので、医療機関での窓口負担額が抑えられます。
人間ドックを受診される場合は、特定健診との同時実施をお願いいたします。

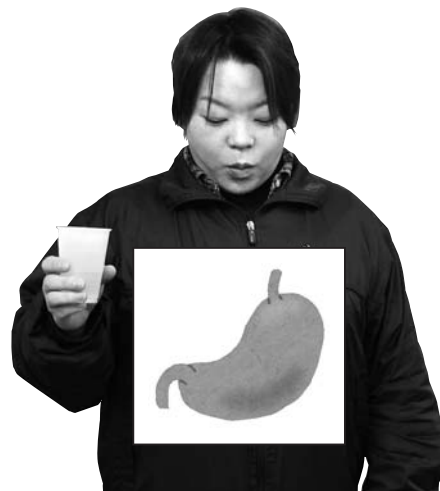


Q 大腸がん摘出手術をしても受診しなくてはいいけない？

A 検診を受けるより、かかりつけ医で定期的に受診をしましょう。
もう病院にかかってないという方は、年に1度は検診を受けましょう。

Q 胃がん検診を受けると必ず精密検査になるので、毎年受けたくないのですが...

A 潰瘍の治ったあとなどが、がんのサインと区別できないためです。そのような方は集団健診の胃がん検診(バリウム検査)には向かない可能性があります。
かかりつけの専門医を決めて定期的な胃力メラによる検査をお勧めします。



Q 人間ドックの結果を提出すると個人情報漏れるので領収書を提出するだけで補助をもらうことはできないの？

A 人間ドックの結果を提出していただいているのは、大豊町の特定健診やがん検診を受診したことになり、受診率を向上させることができ、今後の健康づくりにもつながっていくことができます。
受診率が上がれば県からの補助金が増えますので町財政の安定にもつながります。

